「かん蟲封じ秘伝書」

秘伝の護符を公開！

高橋久美子作成

無料配布版

ピア・スピリチュアル

★かんの蟲封じとは？★

著者の祖父母の世代（昭和初期）の方は分かると思います。

昔の人は、病気は、体内に悪い虫が居て起こすと思っていました。

道教の影響ですね。その虫は絲條虫（しじょうちゅう）と言い、

体の消化器官や皮膚に寄生していると信じられていました。

「虫の居所が悪い」という言葉はこれから来ているようです。

かんの蟲は、赤ちゃんや小さな子に寄生すると言われています。

夜泣き、下痢気味、自家中毒、不眠などが続き、

子供本人も、親もストレスが溜まっていく状態です。

主な症状は

ａ いきなり感情が高ぶり、キャッキャとはしゃぐ

ｂ 火のついたように泣き叫ぶ

Ｃ ミルクを吐き下痢が続き、元気が無くなる

ｄ 土や砂、石鹸、生米のようなものを食べる

ｅ 鼈甲色の大便をする

このような症状に、かんの蟲封じが有効です。

その他、小児科系の病気や発育不良、学習機能障害にも効果があります。

大人も、不眠症やストレスが溜まっている、イライラする、

神経症などの精神性の症状に試してみると事をお勧めします。

薬を飲んでも効果が無いという方は、
副作用の心配は無いので、試してみる価値はあります。

★用意するもの★

塩　｜　調理用ではないもの

水　｜　洗面器などに用意してください。

墨　｜　食塩水で　溶いて作ります

★やり方★

① 男の子は左手、女の子は右手をきれいに洗います。
水分は、十分にふき取ってください。

② 手のひらに、護符（図 A）を書きます。
この護符は、今まで公表されて居ないようですね。

図 A

③

図Aを書いた手のひらに九字を切ります。

1臨　2兵　3闘　4者　5皆　6陣　7烈　8在　9前

これを、人差指と中指を立てて、図Bの順に唱えます。

九字を唱えるときは、丹田にちからを入れて、念をこめます。

手のひらに気を注入するような気持ちで。

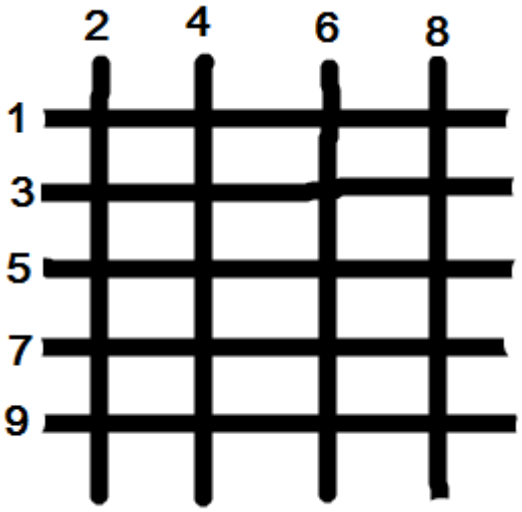

図 B

④　手のひらの護符に塩をすり込み、握り、２～３分待ちます。

⑤　水で手を洗い、水分をふき取ります。

しばらく待っていると、指の先から、細く白い糸のようなものがニョロニョロと出てきます。これがかんの蟲です。

かんの蟲は、体の他の場所からも出ることもあります。

★かんの蟲の正体★

昔からいろいろ言われていますが、科学的には不明です。

嘘、詐欺、迷信という人も居ます。

かんの蟲は、肉眼で見えます。取って保存することもできますが、自然に消えてしまうようです。

大人から出るかんの蟲には、重金属の成分が含まれているとか。体内にある、微量の有害物質が出てくるという研究もあるそうです。今流行のデトックスとでも言うのでしょうか。

★その他注意点★

かんの蟲封じは、一日一回です。午前中が望ましいです。症状が軽いものは、一回で効果がありますが、

重症でも、数回施術すると効果が現れます。

霊能力がなくても、誰でもできます。

この電子書籍は著作権によって保護されています。
無断な転用、転載、再配布は禁じます。

２０１１年３月18日作成

「かん蟲封じ秘伝書」

著者　高橋久美子

３１２-０００３
茨城県ひたちなか市足崎１２９０-１３

０２９-２０２-０４７５

ピア・スピリチュアル

ｈｔｔｐ：／／７７７．ｌｉｔｔｌｅｓｔａｒ．ｊｐ／